毛呂山町議会
農業委員の任命過程調査特別委員会
調査報告書

令和7年9月

目次

1	委員会設置の経緯	1
2	委員会の設置	1
3	委員会の開催状況	2
4	参考人、証人の出頭等	3
5	記録等の提出の状況	5
6	事実認定及び委員会の判断	6
7	総括	10
8	証人の不出頭	11
9	告発の状況	12
10	調査経費	12

1 委員会設置の経緯

- ・令和5年11月1日から12月11日までの期間で実施された毛呂山町農業委員の募集に当たり、募集定員6名の応募等があった。また、町はこの募集状況を令和6年1月9日に町ホームページで公表した。
- ・令和6年2月14日、「候補者の中に農業委員になじまないと思われる方がおられます」との意見書（以下「意見書」という。）が町長に提出される。
- ・同年2月29日、「毛呂山町農業委員会の委員の任命に関する規程」等に基づき、毛呂山町農業委員候補者評価委員会（以下「評価委員会」という。）を開催し、関係者から意見聴取を行い、3月1日にその聴取した意見（以下「意見報告書」という。）を町長に報告した。
- ・町長は、その意見報告書により当該候補者を農業委員候補者から除外した。
- ・同年3月19日、町長は農業委員を任命するため、新たな農業委員候補者を加えた議案を3月定例会に上程し、議会は当該議案を可決した。
- ・同年5月15日、「農業委員の任命過程を明らかにするよう求める請願」が議会に提出され、同年6月及び9月定例会並びに所管の常任委員会で審議し、当該請願は趣旨採択とすることに決定した。
- ・同年9月9日、定例会において議会として農業委員の任命過程に係る事実関係を調査すべきと判断し、当委員会が設置された。

2 委員会の設置

(1) 委員会設置の決議

「農業委員の任命過程の事務調査に関する決議」

令和6年9月9日、第3回（9月）定例会において賛成多数により可決

(2) 委員会の名称及び構成

①名 称	農業委員の任命過程調査特別委員会
②定 数	7名
③委 員 長	長瀬衛
④副委員長	佐藤秀樹
⑤委 員	堀江快治 高橋達夫 岡野勉 荒木かおる
平野隆（令和7年5月30日まで）
澤田巖（令和7年5月30日から）

(3) 調査事項

農業委員の任命過程に関する事項

3 委員会の開催状況

委員会	開催日	内 容
第1回	令和6年9月20日（金）	・正副委員長の互選
第2回	令和6年10月10日（木）	・資料提出請求について
第3回	令和6年10月25日（金）	・証人出頭要求について ・証人尋問の進め方について
第4回	令和6年11月5日（火）	・証人尋問（一部秘密会） ・証人の不出頭について ・証人出頭要求について
第5回	令和6年11月11日（月）	・証人尋問 ・証人の不出頭について
第6回	令和6年11月22日（金）	・証人尋問
第7回	令和6年12月11日（水）	・証人出頭要求について
第8回	令和7年1月9日（木）	・証人の不出頭について ・証人主治医への意見聴取について
第9回	令和7年2月10日（月）	・役場産業医への意見聴取について ・資料提出請求について
第10回	令和7年2月20日（木）	・農業委員会事務局長への書面による陳述要求について
第11回	令和7年3月18日（火）	・令和7年度の調査費用について ・証人出頭要求について
第12回	令和7年3月25日（火）	・証人尋問 ・証人の不出頭について
第13回	令和7年3月28日（金）	・証人出頭要求について
第14回	令和7年4月8日（火）	・証人の不出頭について ・不出頭に対する告発について
第15回	令和7年4月15日（火）	・資料提出請求について ・証人出頭要求について
第16回	令和7年4月24日（木）	・証人尋問 ・資料提出請求について
第17回	令和7年4月28日（月）	・関係者への質問状提出について ・弁護士を選任について

第18回	令和7年5月8日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士の選任について ・資料提出請求について
第19回	令和7年5月14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料提出請求について
第20回	令和7年6月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・証人出頭要求について
第21回	令和7年6月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・証人尋問
第22回	令和7年9月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査報告書について

4 参考人、証人の出頭等

(1) 参考人として出席を求めた者、意見陳述を求めた事項

委員会	出席を求めた者	意見陳述を求めた事項
第4回 令和6年 11月5日(火)	現農業委員A ※ 欠席	農業委員会総会での委員の発言について
	現農業委員B	農業委員に推された経緯について
第5回 令和6年 11月11日(月)	現農業委員A ※ 欠席	農業委員会総会での委員の発言について

(2) 証人として出頭を求めた者、証言を求めた事項

委員会	出頭を求めた者	証言を求めた事項
第4回 令和6年 11月5日(火)	前農業委員C	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容について
	前農業委員D	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容について
	現農業委員E	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容について
	現農業委員F ※ 不出頭	農業委員会総会での委員の発言及び町長に提出した意見書並びに農業委員候補者評価委員会の審議内容について

	関係人G	(非公開)
第5回 令和6年 11月11日(月)	前町議会議員H	役場ロビーにおいて、農業委員から農業委員会総会の内容を聞いた事実について
	前総務課長(農業委員候補者評価委員会委員)	農業委員候補者評価委員会の審議内容について
	前農業委員会事務局長(農業委員候補者評価委員会委員) ※ 不出頭	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容並びに農業委員の任命過程における手続きについて
	現農業委員F	農業委員会総会での委員の発言及び町長に提出した意見書並びに農業委員候補者評価委員会の審議内容について
	前農業委員I	農業委員の応募から農業委員候補者評価委員会の審議結果及び請願について
第6回 令和6年 11月22日(金)	関本建二副町長 (農業委員候補者評価委員会委員長)	農業委員候補者評価委員会の審議内容について
第8回 令和7年 1月9日(木)	前農業委員会事務局長(農業委員候補者評価委員会委員) ※ 不出頭	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容並びに農業委員の任命過程における手続きについて
第12回 令和7年 3月25日(火)	井上健次町長	農業委員の任命について
	前農業委員会事務局長(農業委員候補者評価委員会委員) ※ 不出頭	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容並びに農業委員の任命過程における手続きについて
第14回 令和7年 4月8日(火)	前農業委員会事務局長(農業委員候補者評価委員会委員) ※ 不出頭	農業委員会総会での委員の発言及び農業委員候補者評価委員会の審議内容並びに農業委員の任命過程における手続きについて
第16回 令和7年 4月24日(木)	前農業委員I	農業委員の応募から農業委員候補者評価委員会の審議結果及び請願について
	井上健次町長	農業委員の任命について

第21回 令和7年 6月17日(火)	井上健次町長	農業委員の任命について
--------------------------	--------	-------------

5 記録等の提出の状況

番号	請求記録名	請求先	請求年月日 受理年月日
1	2月29日開催の農業委員候補者評価委員会議事録及び出席者名簿	町農業委員会 会長	令和6年10月11日 令和6年10月21日
2	訪問を受け投票の勧誘を受けたというニュースソース		
3	町長に提出された意見書		
4	農業委員候補者評価委員会の意見報告書		
5	農業委員会総会議事録(令和3年度～令和5年度)		
6	農業委員会委員の活動記録簿(令和3年度～令和5年度)		
7	農地転用の申請者を呼び出そうとしたと言われる議事録と録音データ		
8	総会の審議の際、個人で調べた不明瞭な事由を元に意見を述べたとする議事録と録音データ		
9	前農業委員Iの応募書(令和2年分、令和5年分)		
10	3月19日に井上町長等が前農業委員I宅へ訪問した時の会話録音データ	前農業委員I	令和6年10月10日 令和6年10月11日
11	令和4年12月議会の高橋達夫議員の一般質問の音声データと録画データ	町議会議長	令和6年10月11日 令和6年10月21日
12	令和5年12月定例会(12月12日)会議録		

13	農業委員会事務局が令和6年2月14日付けで作成した「意見書」のデータ及び当該データの作成日が分かるもの	町農業委員会 会長	令和7年2月10日 令和7年2月12日
14	顧問弁護士に対して問い合わせた書面	町長	令和7年4月15日 令和7年4月21日
15	野菜残渣を処理した際のマニフェスト	関係企業J社	令和7年4月24日 令和7年4月28日
16	東松山環境管理事務所が関係企業J社の現地調査を行った際の写真	関係企業J社	令和7年5月9日 令和7年5月13日
17	東松山環境管理事務所立ち合いの下、関係企業J社から廃棄物を運んだ際の写真	関係企業J社	令和7年5月15日 令和7年5月16日
18	産業廃棄物管理票に関する報告書の写し		※番号18及び19については「文書無し」との回答
19	産業廃棄物処理に係る委託契約書の写し		

6 事実認定及び委員会の判断

(1) 本会議及び委員会の審議における執行部職員の虚偽答弁等について

【事実認定】

令和6年3月21日の定例会及び令和6年7月19日の常任委員会の審議において、前農業委員会事務局長は、「2月14日の意見書の動きの件でございますが、こちらといたしましてはそういった様子はつかんでおらなかった状況でございます」、「あくまでも意見書が提出されるというのは、我々は想定しておりませんで、そういったネットの公表を見て初めてその方がそういう思いに至ったのだろうなと、そんなふうに考えておりました、9日に公表をさせていただいて、1か月ちょっとたってから意見書が出てくる流れに関しては、致し方ないのかなと、そんなふうに考えております。」、「意見書は鍵となるもので非常に重要なもの」と答弁している。

しかしながら、当該意見書は、前農業委員会事務局長が公用パソコンで作成したもので、提出者であるF氏はその内容が自分の考えと同じであることを確認した上で押印し、町長に提出されたものである。

また、F氏は当委員会の証人尋問において、「意見書を考えたのは事務局で、私は

提出すること自体は認識していなかった」、さらに、町長は意見書が提出されなかったら当初農業委員の募集に応じた農業委員候補者 I 氏を農業委員として任命した旨の証言をしている。両氏の証言を踏まえると、意見書の作成は前農業委員会事務局長が主導したものと認められる。

【委員会の判断】

意見書は、前農業委員会事務局長が主導したものであり、公用パソコンで自ら作成しているにもかかわらず、令和6年3月21日の定例会等における議案等の審議に際して、前農業委員会事務局長が「意見書提出の様子をつかんでいなかった」等と答弁したことは虚偽である。そもそも、町民から町長に対する「意見書」という制度は町に存在しない。

従って、前農業委員会事務局長が意見書を作成しなければ当該意見書が提出されることはなかったことは明らかである。

(2) 毛呂山町農業委員候補者評価委員会の職務等について

【事実認定】

評価委員会が町長に提出した意見報告書は、当該評価委員会において農業委員等の関係者から I 氏に対する意見を聴取し、聴取した意見を毛呂山町農業委員会の委員の任命に関する規程に基づき町長に報告したものである。なお、評価委員会は、I 氏の意見は聴取していない。

評価委員会の所掌事務等については、毛呂山町農業委員候補者評価委員会設置要綱第2条では「農業委員候補者の評価及び検討に関すること」、また、同要綱第6条では「委員長は、農業委員候補者の評価及び検討をしたときは、その意見を町長に報告するものとする」と規定している。

評価委員会は、関係者から聴取した意見のみを町長に報告するにとどまり、当該要綱で定める農業委員候補者の評価等を履行していないことが明らかになった。

また、評価委員会が町長に提出した意見報告書の内容は、関係者から I 氏に対する意見を聴取し、その聴取した結果を5項目にまとめたものである。当委員会の証人尋問において、I 氏は、5項目のうちの1項目の事実を認めたが、その他の4項目は否定した。一方、評価委員会に出席し意見を述べた農業委員等の関係者は、当委員会の証人尋問において、「法違反は確認できなかった。誰かから聞いた。詳しくは知らない。」等と証言しており、さらに評価委員会委員長である副町長は「職務上の違反、非行には至らない。グレーである。農業委員として不適任という答申はしていない。」等と証言している。なお、I 氏が否定したその他の4項目については、I 氏と農業委員関係者との間で認識の相違があった。

【委員会の判断】

評価委員会において、農業委員候補者の評価等を履行していないことは、当該評価委員会の職責を果たしていないものと判断する。

また、評価委員会を設置する目的は、農業委員候補者を選考する過程における公正性の確保と透明性の向上を図ることと理解している。I氏の意見聴取を実施しなかったことについて、評価委員会は、不利益処分ではないために制度上必要ないとの認識である。全国農業委員会職員協議会が作成した「新制度の農業委員会に関するQ&A」には、応募者数が定数を超えた場合は、応募者の意見を聴くこと、選定委員会を設けること等が示されている。I氏を除く関係者のみでの意見聴取は、前述した公正性の確保と透明性の向上の観点に欠けていることは否めない。

次に、評価委員会が町長に提出した意見報告書の内容の5項目のうち4項目については、法根拠や事実相当性に欠けており、客観的理由に極めて乏しい。

(3) 意見書の作成、提出に係る町長の認識について

【事実認定】

意見書については、前農業委員会事務局長が作成を主導し、F氏が提出したものである。F氏はこのことについて「事務局で考えたのだと思いますけれども、私はふだんから問題については、事務局にそれはずっと先ほどから言っているように、3代（の農業委員会事務局長）にわたって言っております。意見書が必要だということ自体は、私は認識にはなかったのですけれども、事務局が作成した意見書を私のところに持ってきて、それを見て、中身については私の主張と同じ、私が言っている主張だということで、責任を持って印鑑を押して提出させていただいたわけです。」と証言している。

この前農業委員会事務局長の一連の行為について、町長は「代筆」と発言しており、証人尋問において「百条が決まったときに私も自分で弁護士のほうには相談していますし、その関係につきましては、意見書については代筆されたとしてもそれは全然問題ないのですよということを確認しています。」と証言している。

さらに、当委員会が弁護士に「代筆」について見解を求めたところ、「F氏の文書である。原稿を前農業委員会事務局長が作成したと言えるのではないか。なお、前農業委員会事務局長がこの意見書を作成した点について、行政としてそれが良いのかという問題はまた別の問題となる。」との回答を得た。

これらのことから、前農業委員会事務局長が行った意見書の作成は「代筆」として法的には問題がないと言える。

【委員会の判断】

「代筆」は法的には問題がない。「代筆」とは、一般的には本人に代わって書くことである。しかしながら、F氏の依頼を受けずに意見書を用意することは、提案と

も受け取れる行為であり、一般的な「代筆」と区別して考える必要がある。

町長は「いくらでも代筆は職員しますから、それについて代筆してはいけないのだよとか、そういう話ではないと思います。」と証言している。当委員会としても行政職員は窓口業務等において、町民の求めに応じて、必要書類について代筆を行うことがあることは認識しているが、今回の意見書は一人の農業委員候補者の除外に結び付く重大な内容であり、依頼もされず一行政職員が自身の判断で意見書の作成を主導したことは、公務員としての倫理観に問題のある行為であったと判断する。

町長は、代筆は問題がないという認識であり、行政を運営するうえで倫理的な観点が著しく欠けている。

(4) カット野菜残渣問題について

【事実認定】

令和5年7月、西戸地内のJ社が使用する農地にK企業等からカット野菜残渣が持ち込まれ、その悪臭や鳥獣出没などの苦情が町担当課に寄せられた。

その情報により、I氏は町及び埼玉県東松山環境管理事務所（以下「県当局」という。）に通報し、改善を求めた。

令和5年7月12日、県当局は、K企業等及びJ社に対して、現地調査を実施し、カット野菜残渣が混ざった堆肥の全てを産業廃棄物と断定し、J社に対して、法に基づく適正な産廃処理を行うよう指導した。

令和5年12月25日の農業委員会総会に、K企業から提出された解除条件付き賃貸借申請の審議において、近隣住民から苦情が寄せられた産廃事件との関連性を踏まえ、I氏は、申請者の出席と申請内容の説明を求め、結果、同議案を継続審査とした。

その後、K企業は同申請を取り下げた。その一方で、I氏は、当委員会の証人尋問で、「考えられるのは、(令和5年)7月に産業廃棄物をあるところに捨てて、ある方がそれを処分した。その問題を私が取り上げてきた。11月に捨てた企業が農機具もない、知識もないのに農地を借りようとした。12月にも別の企業が借りようとした。私が農業委員としてその人たちを呼び出そうとしたり、今後3年間そういうことを私が調べることに對して危機感を覚えて、私を排除したと思われる節がある。」と証言している。

また、当委員会に証人として出席した前総務課長は、その頃の前農業委員会事務局局長の様子について「年明け(令和6年)に局長からかなり難しい問題を抱えており、進退についても考えなければならないという相談があった。精神的に悩んでいるということはかなり大きなものだ」と認識していた。恐らく、任期がここで切れるということもあって、人選についていろいろ考えることがあったのだろうと思う。」と証言している。

このカット野菜残渣問題に関する調査は、当委員会の調査対象に含めるか否かを

判断するため、弁護士の見解を踏まえて実施した。

【委員会の判断】

K企業等とJ社は、野菜納入等で取引関係にあった。さらに、証言などからJ社の実質的経営は取締役である井上町長であることが伺える。

K企業の解除条件付き賃貸借申請が取り下げられたことと、農業委員の任期を控えていた中での前農業委員会事務局長の行動、前総務課長の証言、その後の経緯等からも、西戸農地のカット野菜残渣問題が本事件の大きな動機になったのではないかと考えるのが妥当である。

7 総括

当委員会は、農業委員の任命過程に関する事項を地方自治法第100条に基づき、より深く調査を行うために設置された。調査事項については、意見書の提出に至る経緯、評価委員会の意見報告書等を中心に調査を行った。

意見書は、前農業委員会事務局長が公用パソコンで作成したものであった。しかも、一農業委員が提出したものであるが前農業委員会会長は一切関与していなかった。最大の疑念であるそこに至った経緯及び理由については、前農業委員会事務局長が当委員会に出頭しなかったため、証言を得ることができず、調査事項の解明には至らなかった。さらに、前農業委員会事務局長の本会議等における虚偽答弁についてもそこに至った理由等の解明ができず疑念が深まる一方である。

議会は、執行部が虚偽の答弁を行うことは想定していない。前農業委員会事務局長の虚偽答弁は、町民並びに議会に対する背信行為であり、町民並びに議会と町との信頼関係を損なう重大な問題である。この虚偽答弁の責任の所在を明確にするとともに、再発防止及び信頼関係の回復に努めることを強く望む。

また、町長は、意見書の作成に係る職員の一連の行為は、代筆であることから法的に問題ないとの認識である。当委員会においても法的に問題ないことは理解する。しかし、意見書が提出されるまでの経緯が明らかになり、前農業委員会事務局長が行った行為は、公務員として倫理的に問題があったと言わざるを得ない。公務員は、職務を遂行する上で守るべき道徳的基準や行動規範があり、全体の奉仕者として、公正で誠実な職務執行を行い、町民の信頼を損なわないよう行動することが求められている。町長は、法的な観点だけでなく、倫理的な観点を踏まえて公正さと誠実さをもって行政運営に努めるべきである。

農業委員候補者の選考過程において、評価委員会が適切に機能したとは言い難い。農業委員候補者の選考に当たっては、選考方法や選考基準を明確にし、透明性の高い選考プロセスを構築することが重要である。このことから、評価基準を定めるなどの規定等の見直しを速やかに実施すべきである。

法令順守は行政の最大の責務である。産業廃棄物処理に関する問題に町長やその

関係者が関わっていたことが判明した。町の責任は、快適な住民生活を守り、町の環境保全に向けて取り組むことであることから、町長の法違反と思われる行為が今後の大きな課題とならぬよう、原因究明と責任の所在を明確にすることを強く求める。

農業委員候補者の選定に当たっては、町長の裁量によるものであり、その権限は大きいものである。しかし、本件の任命手続きが適正であるかの判断については、前農業委員会事務局長が当委員会に出頭せず、証言を得られなかったため、事実関係の十分な解明には至らなかった。当委員会の調査では限界があり、最終的な判断は司法に委ねるほかないと言わざるを得ない。

結果的に前農業委員会事務局長の主導によって意見書が提出され、一人の農業委員候補者が恣意的と思われる公的機関の手続きによって、自らの意に反して農業委員候補者から排除されたことは、行政事務手続きとしてあってはならない。

今後においては、本事件の調査によって明らかとなった課題を精査し、農業委員の任命事務における問題点の早急な改善を求めるところである。そして、法令順守を徹底するとともに公平公正の原則に従い、町民から信頼を得られる農業行政を進めていくべきである。

最後に、当委員会の調査にご協力を頂いた関係各位に感謝を申し上げ、調査報告とする。

8 証人の不出頭

(1) 現農業委員F

① 第4回 令和6年11月5日(火)

令和6年10月28日付け証人出頭請求書にて当委員会への出頭を求めたが、11月5日に「秘密会の要請を行ったが、認められなかった等」との理由から欠席届が提出された。

(2) 前農業委員会事務局長

① 第5回 令和6年11月11日(月)

令和6年11月1日付け証人出頭請求書にて当委員会への出頭を求めたが、11月6日に「心身不調で自宅療養中の為欠席させていただきます。」との理由から診断書を添えた欠席届が提出された。

② 第8回 令和7年1月9日(木)

令和6年12月12日付け証人出頭請求書にて当委員会への出頭を求めたが、12月16日に「心身不調で自宅療養中の為欠席させていただきます。」との理由から診断書を添えた欠席届が提出された。

③ 第12回 令和7年3月25日（火）

令和7年3月19日付け証人出頭請求書にて当委員会への出頭を求めたが、3月21日に「心身不調で自宅療養中の為欠席させていただきます。」との理由から診断書を添えた欠席届が提出された。

④ 第14回 令和7年4月8日（火）

令和7年3月31日付け証人出頭請求書にて当委員会への出頭を求めたが、4月4日に「心身不調で自宅療養中の為欠席させていただきます。」との理由から欠席届が提出された。

9 告発の状況

前農業委員会事務局長に対して、当委員会は計4回の出頭を請求したが、全て不出頭であった。当委員会は令和7年3月25日並びに令和7年4月8日の欠席理由について、正当な理由とは認めなかったため、この2回の不出頭について令和7年4月8日の委員会において、同氏の告発を委員会提出議案として上程することが賛成多数で可決された。

10 調査経費

(1) 議決予算額

年 度	金 額
令和6年度	500,000円以内（令和6年9月9日議決）
令和7年度	200,000円以内（令和7年3月19日議決）

(2) 調査に要した費用

令和6年度

経費内容	金 額
委員会録調整委託料等	267,241円

令和7年度

経費内容	金 額
委員会録調整委託料等	114,770円